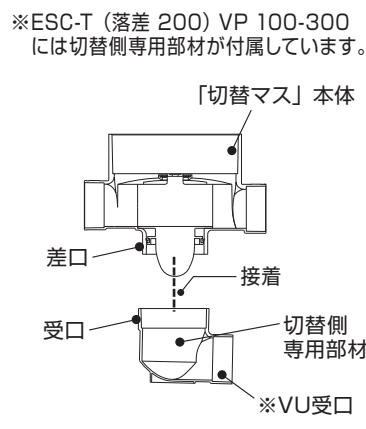
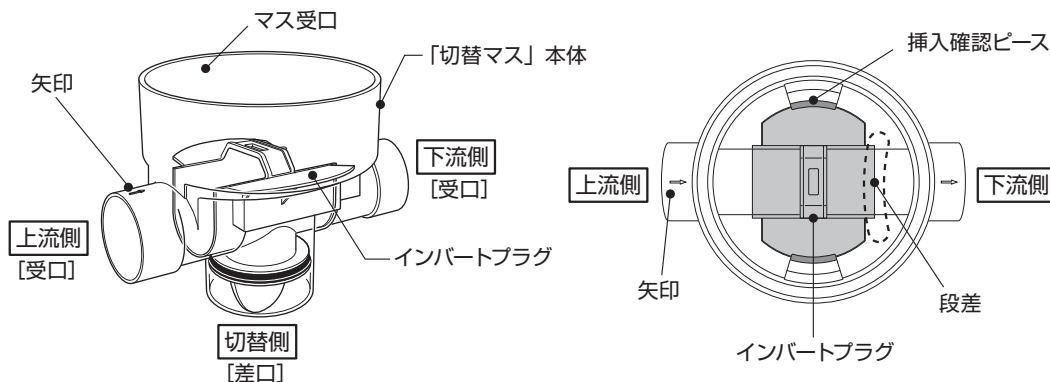


切替マス ESC-T VP 100×150P-300 / VP 150×150P-300 ESC-T (落差 200) VP 100-300

●施工前に必ず取扱説明書をお読みください。

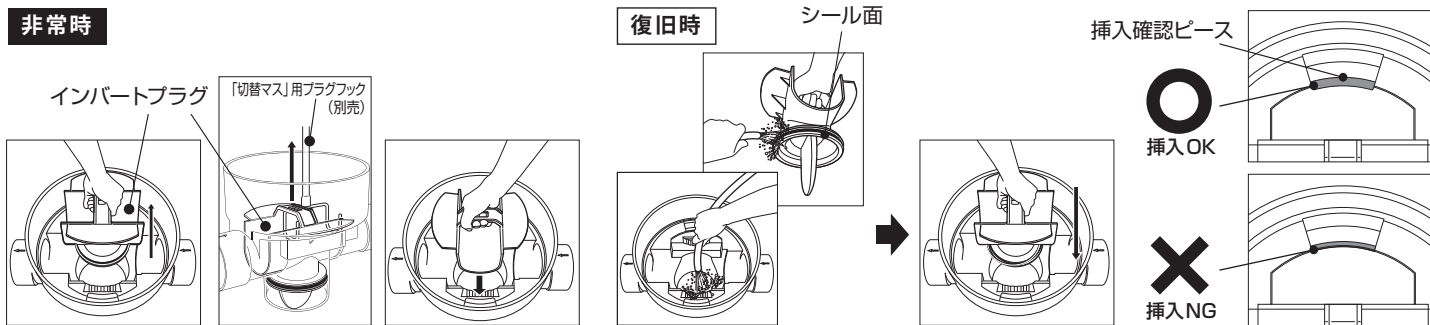
施工方法

矢印がある受口を上流側、または「インバートプラグ」と本体に段差がある受口を下流側にして設置してください。
「インバートプラグ」を確実に差し込んだ状態で設置してください。



使用方法

本管が破損するなどの非常時に排水が行えなくなった場合は、下図のように「切替マス」の「インバートプラグ」を上へ引き、90°回転させてマス内の所定位置に置いてください。
設置深さが深く手が届かない場合は、別売のプラグフック等を事前に準備しておいてください。
本管が復旧後、本体とプラグのシール面をていねいに清掃してから「インバートプラグ」を挿入確認ピースが出るまで差し込み、もとに戻してください。
「インバートプラグ」の挿抜がきつくなった場合は、市販のシリコングリスをゴム輪表面に塗ってください。



注意事項

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、投げ投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のももらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- ・矢印がある受口を上流側にして設置してください。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。
- ・接合は規定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
- ・アセトン、シンナー、クレオソート、殺虫剤、白あり駆除剤など材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗ったりしないでください。

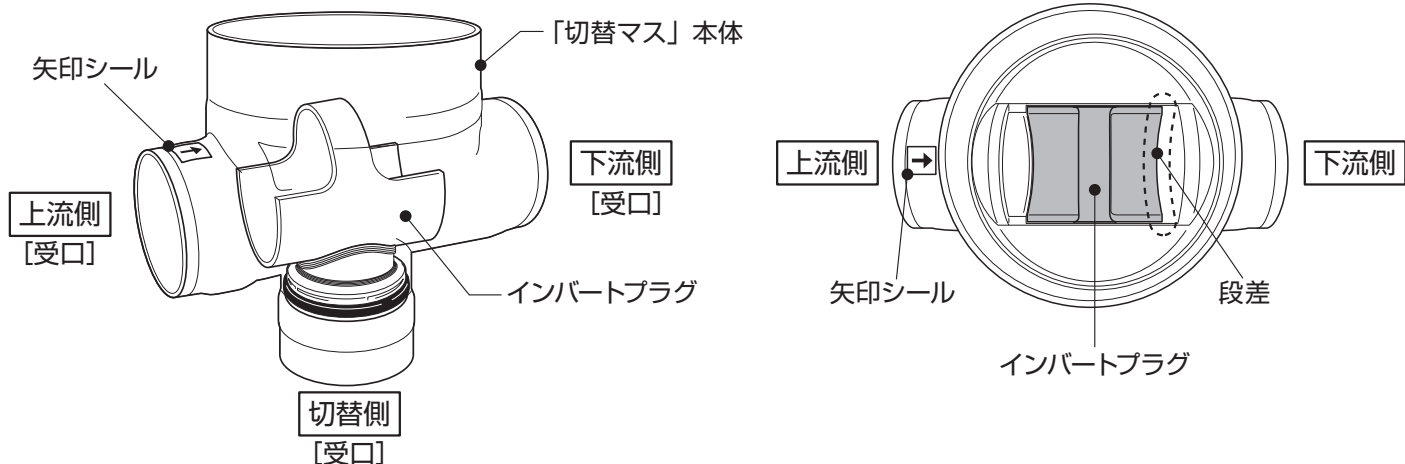
◆使用上のご注意

- ・非常時に取り外した「インバートプラグ」は、マス内の所定位置に設置してください。
- ・本管が復旧後、「インバートプラグ」を差し込む際は、本体とプラグのシール面をていねいに清掃してから挿入確認ピースが出るまで差し込んでください。
- ・管内をジェット洗浄する際は、プラグに負荷がかからないように配慮してください。
- ・「切替マス」で維持管理道具を挿入する際は、プラグへの接触にご注意ください。

●施工前に必ず取扱説明書をお読みください。

施工方法

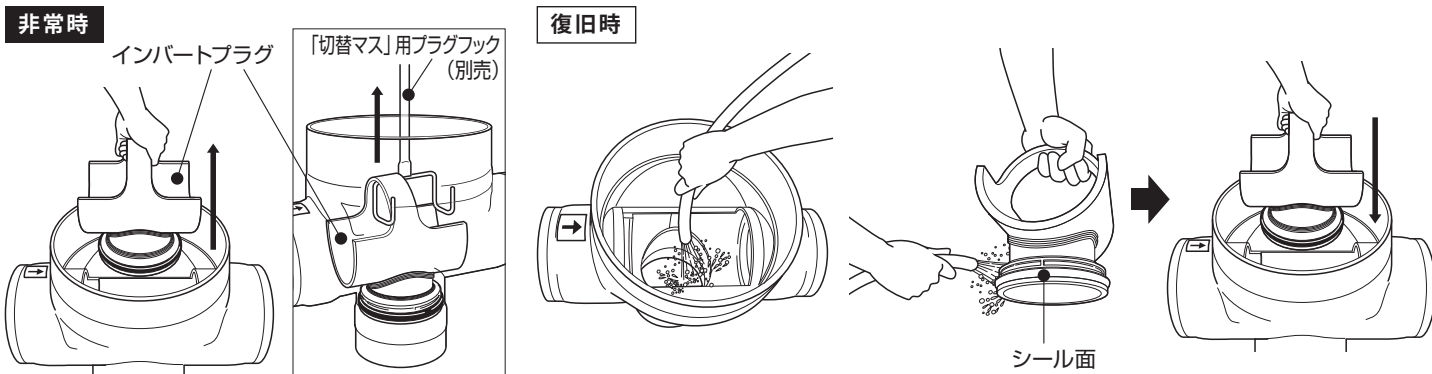
矢印シールが貼ってある受口を上流側、または「インバートプラグ」と本体に段差がある受口を下流側にして設置してください。「インバートプラグ」を確実に差し込んだ状態で設置してください。



使用方法

本管が破損するなどの非常時に排水が行えなくなった場合は、「切替マス」の「インバートプラグ」を上へ引き抜いてください。設置深さが深く手が届かない場合は、別売のプラグフック等を事前に準備しておいてください。

本管が復旧後、本体とプラグのシール面をていねいに清掃してから「インバートプラグ」を差し込み、もとに戻してください。「インバートプラグ」の挿抜がきつくなった場合は、市販のシリコングリスをゴム輪表面に塗ってください。



注意事項

◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、投げ捨てなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- ・屋内で保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のこもらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- ・矢印シールが貼ってある受口を上流側にして設置してください。
- ・接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。
- ・接合は規定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
- ・アセトン、シンナー、クレオソート、殺虫剤、白あり駆除剤など材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗ったりしないでください。

◆使用上のご注意

- ・非常時に取り外した「インバートプラグ」は、なくさないよう大切に屋内で保管してください。
- ・本管が復旧後、「インバートプラグ」を差し込む際は、本体とプラグのシール面をていねいに清掃してから差し込んでください。
- ・管内をジェット洗浄する際は、プラグに負荷がかからないように配慮してください。
- ・「切替マス」で維持管理道具を挿入する際は、プラグへの接触にご注意ください。